

特集

長時間滞在型訪問看護の可能性

2006年4月の介護報酬改定で、20分未満の短時間訪問看護への評価が新設され、訪問看護の機動性がより高まりました。一方で、ALS等の医療依存度の高い在宅療養者・家族のニーズとして、2時間以上の長時間滞在型の訪問看護への要望も高く、各地でモデル事業が実施されています。ショートステイの受け入れが少ない現状では、レスパイトのための支援としても重要なサービス形態です。そこで特集では、長時間滞在型訪問看護の実際や効果、克服すべき課題などについて紹介し、今後の可能性を探ります。

長時間滞在型訪問看護の効果と課題 永井雅子
難病患者への日中・夜間・休日対応型の長時間訪問看護の実際 伊藤文子
ターミナル期の長時間付き添い看護の実際 倉戸みどり

■特別記事

離れて暮らす親を思う一遠距離介護の現状と課題 太田差恵子
ALS/MND国際シンポジウム（於：横浜）に参加して 山本真

■連載

時間を忘れて 天方晴子／訪問看護時時刻々 石田昌宏／わたしのため・から始まる在宅介護 川口有美子／訪問看護のパイオニアたち「川越博美さん」竹森志穂ほか／わたしのことをわたしから 塩津直子／事例で考える医療福祉倫理 大林雅之ほか／わが憧れの老い 服部祥子／家族にできるケアの手引き 福井小紀子／ほんとの出会い 岡田真紀／桜色のハーフコート 赤川次郎

編集
後記

●よく晴れた9月の休日、認知症に関するいくつかの会で。「昨日の夕食は何を食べましたか？」「自宅の電話番号を後ろから言えますか？」「認知症になってもすぐには施設に入れません」「老後の資金は十分貯えておきましょう」「認知症にだけはなりたくないと思う人？」という問いかけもありました。知識を得たいと講演会に来たのですが、だんだん不安になってきたのも事実です。正しく知り、互いに支援者となって年を重ねていきたい。地域に頼りになる訪問看護ステーションがあればいいと思います。……………伊藤N
●特別記事の伊藤雅治さんへのインタビューでは、老人保健法改正当時の状況を聞き、老人訪問看護ステーション制度誕生までの流れの一端を知ることができました。お話の中には本誌の連載「訪問看護のパイオニアたち」に今月登場した村松静子さんや昨年9月号の新津ふみ子さんのお名前も出てきます。そして2006年4月の報酬改定に触れての「これで現場が動かないとしたら、どうにもならない」との言葉は、訪問看護にとっていまが正念場であることを感じさせるものでした。……………伊藤M

訪問看護と介護 第12巻 第1号 2007年1月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2007, Printed in Japan
1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年ごめり予約購読料13,200円(年間12冊, 消費税, 送料弊社負担)

発行:株式会社 医学書院/代表者:金原 優/販売部:03-3817-5657/社内案内:03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室:直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当:伊藤・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本紙の無断複写は著作権法上での例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。